

## 1 はじめに

本市では第4次総合計画に基づき計画的なまちづくりを進めており、特に、20年度は後期基本計画がスタートする節目の年でもありました。

この後期基本計画では『市民の笑顔があふれ、ゆとり、そしてうるおいを実感できるまちを創造したい。』という想いを込めて、5年間のまちづくりの目標を『元気でうるおいのあるオンリーワンのまちづくり』と掲げるとともに、計画の愛称を『笑顔・ときめき川西プラン』としています。

そして、後期基本計画の中でも、特に「市民とともに築く未来に向けたまちづくり」は重点施策に位置づけられており、「参画と協働」は計画策定の基本方針の一つとなっています。

従来、まちづくりは行政の仕事であって、すべてを行政に委任しておけばいいという意識が市民・行政双方にあり、「公共サービス」＝「行政サービス」、そして、それは「官」が供給するものという構図が形成され、定着してきました。しかしながら、地方分権の進展や人口減少、少子高齢化社会の到来、また、人々の価値観が多様化する中で、これからの時代に対応するためには、自らの創意工夫で市民と行政が協働して、地域社会のめざすべき方向や果たすべき役割について共通認識を持ち、適正な役割分担の下で、それぞれの持つ能力を最大限に発揮しながら個性的で魅力あふれるまちづくりを進めていかなければなりません。

また、20年度施政方針では「行政活動への市民参加や市民活動に対する支援などを謳った(仮称)市民参加条例の策定に着手する」と表明され、本格的に(仮称)市民参加条例の策定に向けた検討に着手したところです。

市ではこれまで、協働のまちづくりの推進に向けて様々な角度から検討を加えてきましたが、このたび、協働のまちづくりワークショップでの意見や市民アンケートの結果、また庁内の協働参画プロジェクトチームによる検討結果を踏まえ、「協働のまちづくり推進に向けての基本方針」をまとめました。

今後は、この方針に基づき、協働のまちづくり推進に向けての具体的な仕組みづくりを進めてまいります。

## 2 協働のまちづくりと3つの領域

「協働のまちづくり」とは市民、事業者、自治会、コミュニティ、ボランティア、NPO など、様々なまちづくりの活動主体と行政が協力して、また、様々な活動主体同士が協働して、自分たちの地域をより住みやすくするために、知恵や力を出し合って、それぞれの責任と役割を担い合い、様々な地域活動に取り組んでいくことだと言えます。

地域社会は、多様な価値観と個性を持つ個人とで形成されていますが、一人ひとりの暮らしの中には、個人の利己的な活動、とりわけ、自らの経済的利益を得る活動を行う「私」の領域と、市民等が協働して社会の利益を目的とした活動を行う「公」の領域があります。

工業化・社会化の進展に伴う様々な社会問題が発生するにつれて、「公」の領域における行政の役割が肥大化し、市民の間にも「公」の担い手＝「行政」という意識が根強い状況が長く続いてきました。しかしながら、「官」の非効率性が顕著になるとともに、特に阪神・淡路大震災におけるボランティアやNPOの活躍によって、「公」の領域における「民」の役割の重要性が再認識されています。

この基本方針では、「公」の領域における市民、事業者、行政などの主体による協働のまちづくりを前提として、次の3つの場面を想定し、整理しています。

### SCENE1 <市民活動領域>

自治会やコミュニティ活動、ボランティア、NPOなど市民が中心になって、自主的・主体的に様々な地域づくり活動を行い、行政がそれを支援していく領域

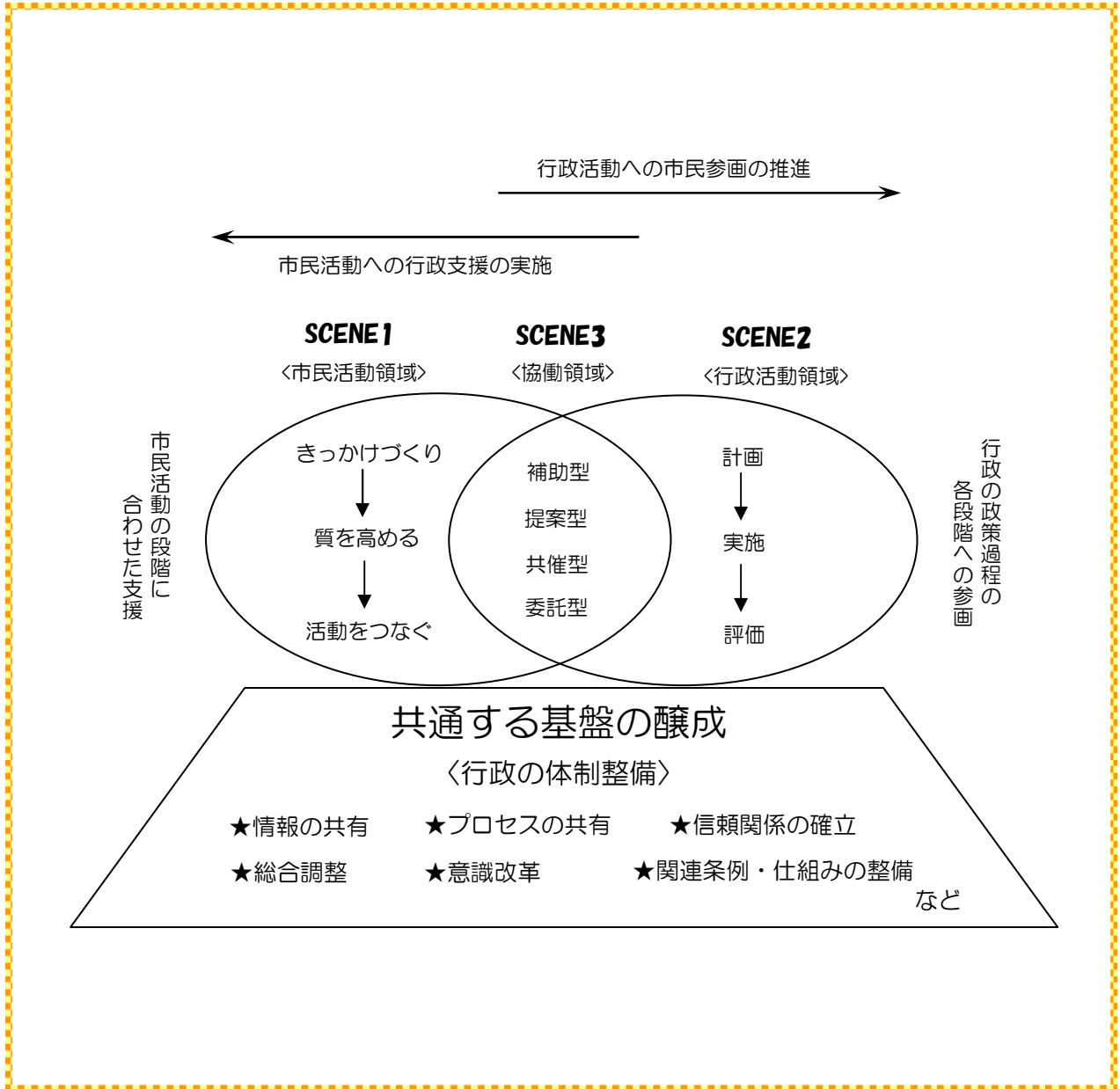
### SCENE2 <行政活動領域>

行政が自らの権限と責任において行う活動と、そこに市民が積極的に参画していく領域

### SCENE3 <協働領域>

市民と行政が、それぞれの責任と役割分担に基づき協働して取り組む領域（市民と行政が一緒になって、地域の課題を発見し、解決策を模索し、目標を共有して実行していく領域）

# 〈協働のまちづくり推進イメージ〉



### 3 協働のまちづくりの現状と課題

本市ではこれまでも、市民のまちづくりへの取り組みとして、地域の美化や防犯活動、あるいは各種イベントやまつりなどが、自治会やコミュニティによって行われてきました。また、地縁的な団体による活動に加え、福祉、環境、子育て、生涯学習、まちづくりなどのテーマに取り組むNPOや市民活動団体の活動も盛んに行われているところです。

また、行政においては、審議会委員の公募やワークショップの開催、パブリックコメントの実施など（具体事例は資料編参照）、重要な施策決定に際しては市民の積極的な参加を求めています。

さらには、「川西市情報公開条例」（平成4年3月31日施行）、「会議公開に係る基本方針」（平成10年1月5日施行）などを定め、行政情報の公開、審議会などの公開を行ってきました。

しかしながら、まだまだ協働のまちづくりが進んだ状況とは言えず、次のとおり様々な課題が挙げられています。

#### SCENE1 <市民活動領域>

- ◆市民が行政に無関心
- ◆まちづくり意識が希薄である
- ◆地域に無関心な人、自己中心主義な人が増えている
- ◆住民同士のコミュニケーションが足りない、関わる場がない
- ◆地域の連帯感が薄れてきた、挨拶をしなくなった
- ◆お互い様の精神、人情味が薄れてきた
- ◆地域参加へのきっかけがない、参加が一部の人に限られている
- ◆自治会加入率が下がってきている
- ◆自治会、コミュニティの情報が伝わっていない
- ◆素晴らしい人材が豊富なのに、活用できていない
- ◆高齢化が進み、若い世代が少なく、まちに活気がない
- ◆若者の地域活動への参加が少ない
- ◆川西には、良いところがたくさんあるはずなのに、川西の魅力に気づいていない人が多い
- ◆川西をふるさとだと感じている人の割合が少ない
- ◆企業のまちづくりへの取り組みが少ない

#### SCENE2 <行政活動領域>

- ◆全庁的に統一した仕組みがない
- ◆市民意見の反映状況が不明確
- ◆行政の情報提供不足
- ◆行政組織の縦割りの弊害
- ◆協働参画に対する職員の意識が低い
- ◆参画が一部の市民に偏っている
- ◆若者の参画が少ない
- ◆情報をくみ取る仕組みが少ない

### SCENE3 <協働領域>

- ◆いろいろなまちづくりの主体(市民、事業者、行政など)同士の連携が図れていない

## 4 協働のまちづくりの推進に向けて

前章で整理した現状と課題を踏まえて、次のような基本方針に沿って協働のまちづくりを推進していきます。

### (1) 共通基盤の醸成

まず、3つの領域に共通する基盤として、次のような行政の体制整備が必要となります。

- 協働のまちづくりを担保するため、関連条例の制定や必要となる仕組み、制度の構築について検討を進めます。
- 市民への情報については、多様な媒体を活用して、市民にわかりやすく、きめ細やかな情報をタイムリーに提供します。
- 協働のまちづくりを推進するため、組織体制の整備を図るとともに、職員一人ひとりが、みずから市民意識を持って仕事を進めます。
- 地縁団体やボランティア、NPO、事業者などとの交流の機会を拡充するとともに、研修内容に工夫を加えるなど職員の力量の向上に努めます。
- 自治会やコミュニティなどへの依頼事項が多く、結果として、市民に重複した要請を行っているなど、組織の縦割りに起因する様々な弊害をなくすため、庁内における調整機能を強化します。

### (2) 活動領域ごとの推進方策

#### SCENE1 <市民活動領域>

まちづくりに係る様々な市民活動を活発化するため、新たな活動へのきっかけをつくり、活動の質をより一層高め、活動相互をつなぎネットワーク化するなど、活動の段階に応じた支援を行うことが必要です。

#### ① 新たな活動のきっかけをつくる

- 新たな活動を支援する制度の構築に努めます。
- 市内外で行われている様々な市民活動の状況や市の各種支援施策に関する情報などを、多様な媒体を活用して提供します。
- 地域づくり活動への参加意欲を持つ市民が、気軽に相談しやすい環境を整えます。
- 本市のポテンシャルとも言える、公民館や生涯学習短期大学「レフネック」等での充実した学習を、地域づくりに還元できるようなしくみを整えます。
- 地域と学校が一体となった学習や行事などを通じ、次代を担う青少年の地域づくり活動への積極的な参加を促します。
- 若い世代をはじめ、様々な世代がまちづくりに関わるきっかけとなる機会の創出や、活動

しやすい環境を整えます。

## ② 活動の質を高める

- 地域活動の中核を担う地域リーダーの育成を支援します。
- 活動団体の企画や運営にあたって必要となるマネジメント能力を養う機会や場を提供します。
- 市民活動センターにおいては、活動団体が求める情報をタイムリーに提供するとともに、活動のステップアップを望む団体の相談を行うなど、センター業務の充実を図ります。

## ③ 活動をつなげる

- 地域づくり活動に関する個人やNPO、地域団体等の情報共有が活発に行われるよう、情報の収集とデータベース化を図るとともに、効果的な情報提供が行われるよう、積極的に支援を行います。
- 団体や企業などが発行する情報誌などに、地域活動に関する情報を掲載するなど、まちぐるみの情報提供体制の構築に努めます。
- NPO やボランティア、地縁団体、事業者など、様々な主体間の交流を促す機会を充実します。
- 地域活動団体間のネットワーク形成やコーディネート活動に重点を置いた中間支援組織の育成・支援を行います。

## SCENE2 <行政活動領域>

政策の企画（P）実施（D）評価（S）のマネジメントサイクルのプロセスにおける市民参画を推進し、市民とともに協働のまちづくりを進めます。

### ① 政策をプランニングする

- 政策の形成段階から、市民の意見等が十分反映されるよう工夫を行います。
- 審議会等への市民公募枠の拡大など、市民が政策形成に直接参画できる機会の拡充に努めます。
- 市民が気軽に市行政に対する提案や提言ができるしくみを充実します。

### ② 政策を実施する

- 行政の責任領域を見極めながら、市民サービスを効果的・効率的に提供できる事業については、積極的に地縁団体やNPO等へのアウトソーシングを進めます。

### ③ 政策を評価する

- 部門別の計画や各種施策等について、行政による自己評価はもとより、市民や学識経験者など外部の視点からの評価を行うしくみの構築に努めます。

### **SCENE3 <協働領域>**

市民と行政が「同じ目標に向かってまちづくりを進める」という立場に立ち協働して取り組むことで、より質の高いまちづくりに貢献する場合には、相互の責任と役割を十分に踏まえながら積極的に協働事業を推進します。

- 公共施設の運営や維持管理などについて、地縁団体やボランティア、事業者などが参加しやすい制度等を導入します。
- 市が実施する各種事業等について、適切な役割分担の下、多様な主体と協働しての開催や運営を行うなど、様々な形での協働を積極的に推進します。
- 市民等が主体になって実施する事業等について、市が協働する取り組みを進めます。





# 參考資料

## 1 協働のまちづくりの推進に向けての検討経過

市ではこれまで、協働のまちづくりの推進に向けて様々な角度から検討を加えてきたところですが、その概要を整理すると次のとおりです。

- ◆平成10年5月：「川西市まちづくり支援システム検討委員会」設置
  - 市民と行政の協働のまちづくりを具現化するシステムについての調査・検討
- ◆平成12年6月：「パートナーシップ型市民活動の促進報告書」
  - 市民活動団体が抱える課題の抽出  
課題解決に向けた支援のあり方
- ◆平成12年11月～平成13年3月：「パートナーシップ型市民活動検討会議」設置  
(公募12名)
  - 報告書に示された支援の基本的方策の内、会議室・作業室などの空間と機能の提供を中心に議論。市民活動拠点づくりの構想をまとめた。
- ◆平成13年5月～11月：市民活動促進準備委員会
  - ジョイン川西の1Fに設置が決まった市民活動センターの施設レイアウト、オープン後の事業運営方法や組織体制などを検討。
- ◆平成13年12月～平成15年6月：市民活動センター委員会
  - センターのソフト面の事業内容、運営方法などを検討。
- ◆平成14年6月：パレット川西オープン
- ◆平成16年8月～平成17年5月：「協働とパートナーシップのまちづくり懇話会」設置  
(学経4名、市民4名)
  - 協働とパートナーシップのまちづくりに向けて、行政が果たすべき役割を明らかにし、必要となる具体的な制度等の提案を行う。
- ◆平成20年9月～平成21年1月：「協働のまちづくりワークショップ」設置  
(団体代表10名、公募市民12名、協働参画PT〈行政職員〉10名)
  - 協働のまちづくりの推進に向けて、必要となる具体的な仕組みについて、それぞれの立場から幅広い意見を述べる。



## 2 市民実感調査の回答結果より

平成15年度からスタートした第4次総合計画においては、まちづくりの課題を明らかにし、市民や市民団体、事業者、行政などがそれぞれできることを行い、協働してまちづくりを進めることとしています。そこで、市民の日常生活における「実感」を毎年調査することにより、協働によるまちづくりを進めるために設定した「ともにめざそうとする具体的な目標」を測定し、総合計画の進捗状況や目標の妥当性を評価する際の基礎資料としています。

この度、協働のまちづくり推進にかかる基本方針を作成するにあたり、平成21年3月に実施した「協働とパートナーシップのまちづくりを進めるための市民実感調査」(無作為抽出した16歳以上の市民1,000人を対象に実施、回答者数620人)の回答結果の中から、特に協働のまちづくりを推進するための制度・仕組みを考える上で関わりの深い項目を抜粋し、掲載しました。

### 【総括】

#### ◆市民と行政のコミュニケーション

「行政の情報を入手することができる」と感じている市民は回答者の約47%であり、逆に、「行政に市民の意見や考えが届いている」と感じている市民は、回答者の約16%のみである。また、回答者の約半数は、「行政に市民の意見や考えが届いているのかわからない」と感じている。

市民と行政のコミュニケーションは、決して良好であるとは言えず、特に、「わからない」という回答が多いことから、市民の行政に関する無関心さも窺える。市民と行政のコミュニケーションを促進する制度・仕組みが必要である。

#### ◆市民活動等の状況・地域とのつながり

回答者の約45%が「自治会やボランティア活動に参加している」。また、回答者の約47%が、「福祉や環境、まちづくりへの市民活動に参加したい」と思っている。

「身の回りの近所づきあいについて」は、回答者の約64%が以前と変わらないと感じているが、約28%の人は以前と比べて薄くなったと感じている。

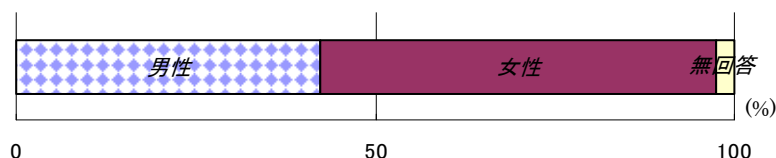
また、回答者の約77%が「地域の出来事や様子に関心がある」ものの、実際に「自治会やボランティア活動に参加している」人は、そのうちの約52%であり、「まちづくりなどの市民活動に参加したい」と思っている人は、約57%となっている。

さらに、市民活動に参加している人の約42%、参加していない人の約79%が、「地域の人たちと地域のことなどを話す機会や場がない」と回答していること、参加していない人の約67%が「地域の出来事や様子には関心を持っている」ことから、主体的に地域づくりに関わる人を増やす施策を展開するとともに、参加したいと思っている人のきっかけとなる場や情報の提供が必要である。

### 【回答者の属性】

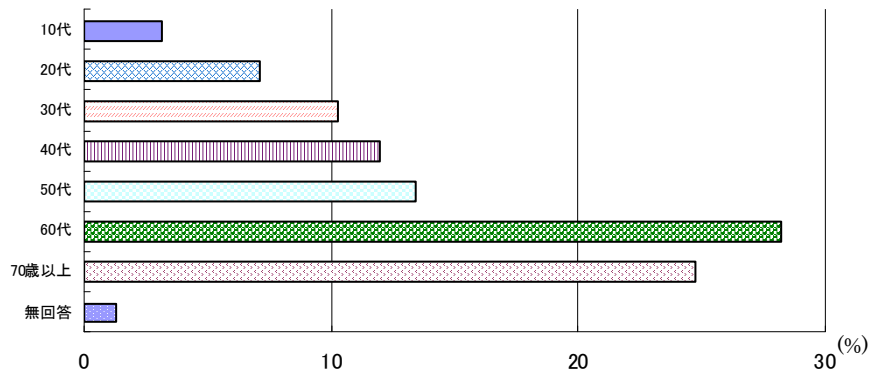
#### (1) 性別

男性	263人(42.4%)
女性	342人(55.2%)
無回答	15人(2.4%)



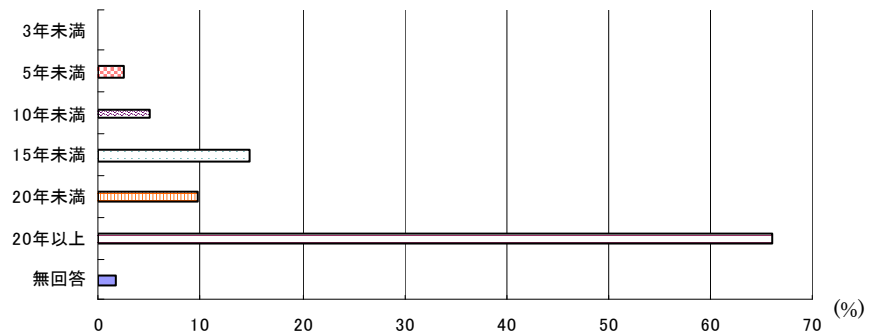
(2) 年代

10代	20人	(3.2%)
20代	44人	(7.1%)
30代	63人	(10.2%)
40代	74人	(11.9%)
50代	83人	(13.4%)
60代	175人	(28.2%)
70歳以上	153人	(24.7%)
無回答	8人	(1.3%)



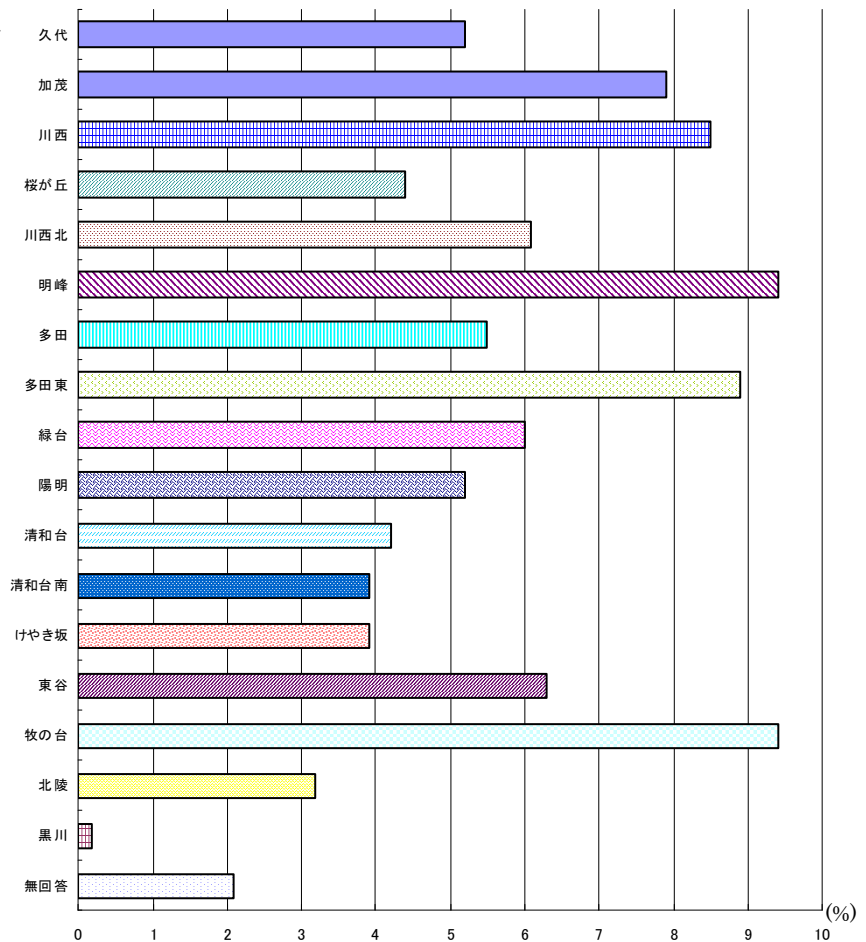
(3) 川西市での居住年数

3年未満	1人	(0.2%)
5年未満	15人	(2.4%)
10年未満	31人	(5.0%)
15年未満	92人	(14.8%)
20年未満	61人	(9.8%)
20年以上	409人	(66.0%)
無回答	11人	(1.8%)



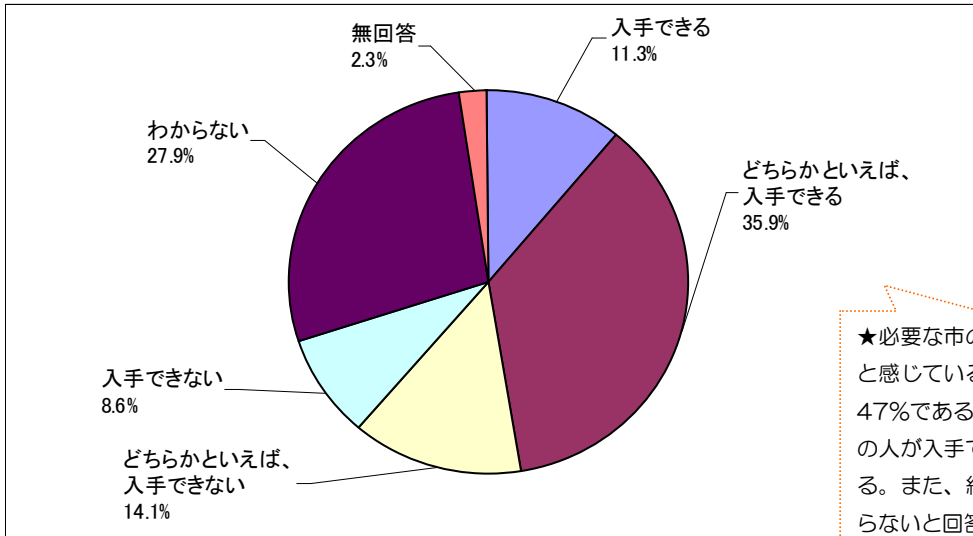
(4) 居住している小学校区

久代	32人	(5.2%)
加茂	49人	(7.9%)
川西	53人	(8.5%)
桜が丘	27人	(4.4%)
川西北	38人	(6.1%)
明峰	58人	(9.4%)
多田	34人	(5.5%)
多田東	55人	(8.9%)
緑台	37人	(6.0%)
陽明	32人	(5.2%)
清和台	26人	(4.2%)
清和台南	24人	(3.9%)
けやき坂	24人	(3.9%)
東谷	39人	(6.3%)
牧の台	58人	(9.4%)
北陵	20人	(3.2%)
黒川	1人	(0.2%)
無回答	13人	(2.1%)

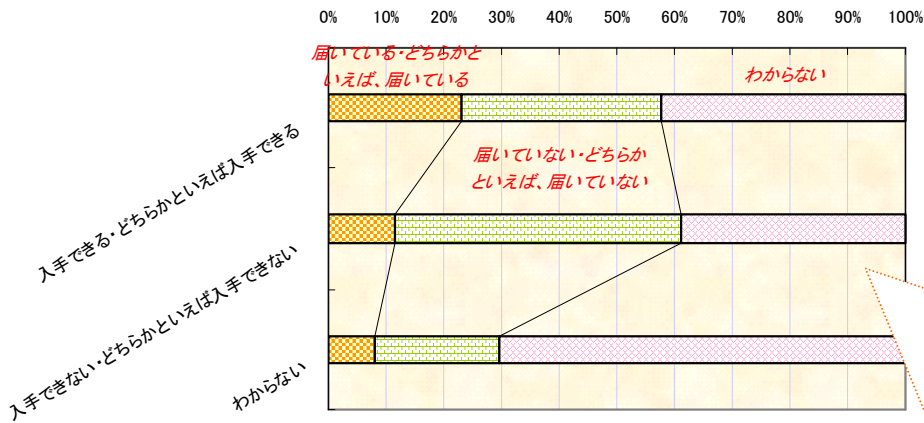


## 【各設問の回答結果】

### Q. 必要な市（行政）の情報が入手できますか。



★必要な市の情報を入手できると感じている人は、回答者の約47%であるが、一方、約23%の人が入手できないと感じている。また、約28%の人がわからないと回答している。



Q市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていますか。

★「入手できる」「どちらかといえば、入手できる」と回答した人の約23%は、市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていると感じているが、約35%は届いていないと感じており、また、約42%は届いているかどうかかわからないと感じている。

★「入手できない」「どちらかといえば、入手できない」と回答した人の約40%が、市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていない、また、届いているかどうかかわからないと感じている。

★「わからない」と回答した人の約92%が、市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていない、また、届いているかどうかかわからないと感じている。

★「入手できる」「どちらかといえば、入手できる」と回答した人の約53%が、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約47%は参加していない。

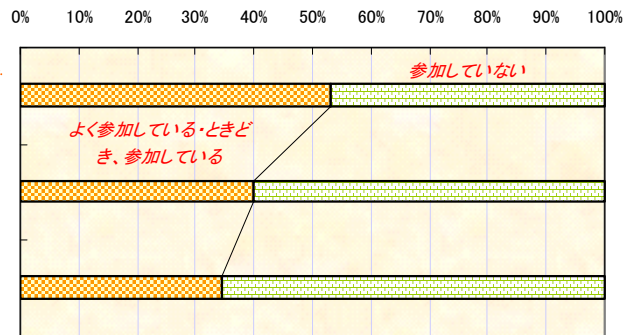
★「入手できない」「どちらかといえば、入手できない」と回答した人の約40%は、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約60%は参加していない。

★「わからない」と回答した人の約35%は、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約65%は参加していない。

入手できる・どちらかといえば入手できる

入手できない・どちらかといえば入手できない

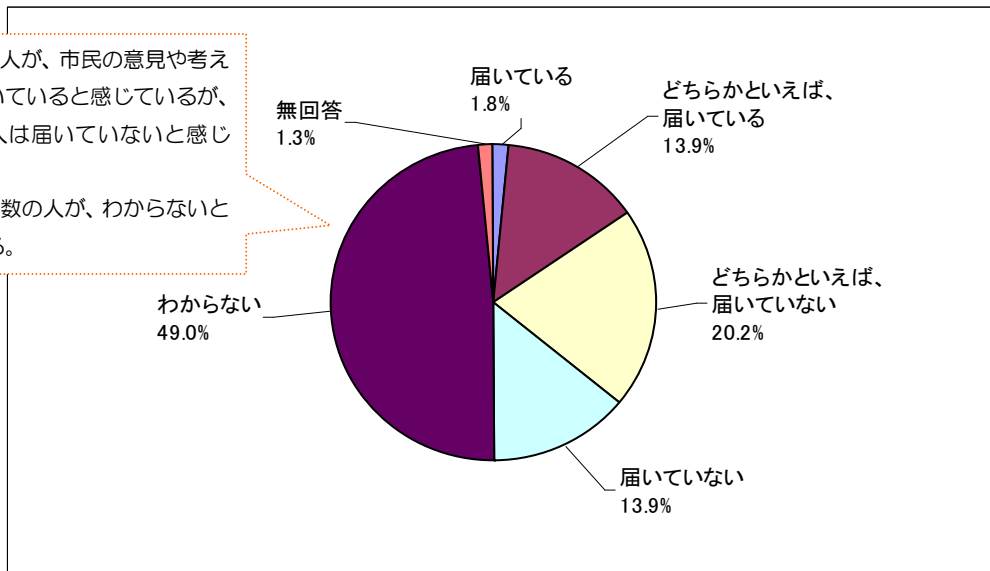
わからない



Q自分の住んでいるまちをより良くしていくために、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加していますか。

**Q. 市民の意見や考えなどが市（行政）に届いていますか。**

★約 16%の人が、市民の意見や考えが、市に届いていると感じているが、約 34%の人は届いていないと感じている。  
★また、約半数の人が、わからないと回答している。



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

届いている・どちらかといえば、届いている  
届いていない・どちらかといえば、届いていない  
わからない

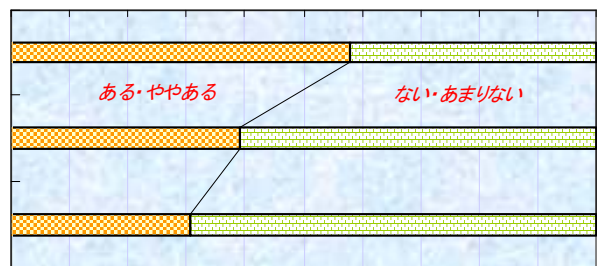


**Q 地域の出来事や様子に関心がありますか。**

★「届いている」「どちらかといえば、届いている」と回答した人の約 92%が、地域の出来事や様子に関心を持っている。  
★「届いていない」「どちらかといえば、届いていない」と回答した人の約 79%が、地域の出来事や様子に関心を持っているが、約 21%は持っていない。  
★「わからない」と回答した人の約 73%が、地域の出来事や様子に関心を持っているが、約 27%は持っていない。

★「届いている」「どちらかといえば、届いている」と回答した人の約 58%は、地域のことや自分のことについて話をする機会や場があると感じているが、約 42%はないと感じている。  
★「届いていない」「どちらかといえば、届いていない」と回答した人の約 39%は、地域のことや自分のことについて話をする機会や場があると感じているが、約 61%はないと感じている。  
★「わからない」と回答した人の約 31%は、地域のことや自分のことについて話をする機会や場があると感じているが、約 69%はないと感じている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

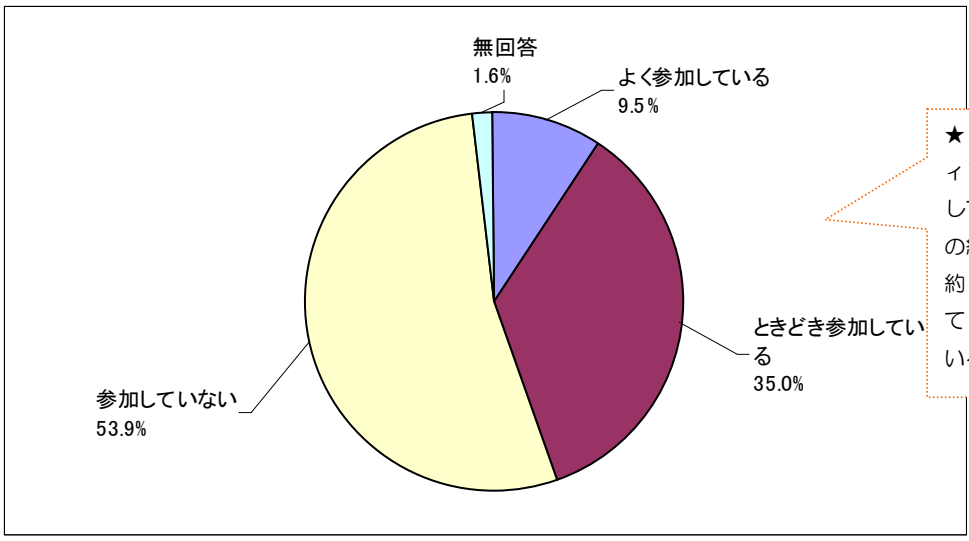


**Q 地域の人たちと、地域のことや自分のことについて話をする機会や場がありますか。**

届いている・どちらかといえば、届いている  
届いていない・どちらかといえば、届いていない  
わからない

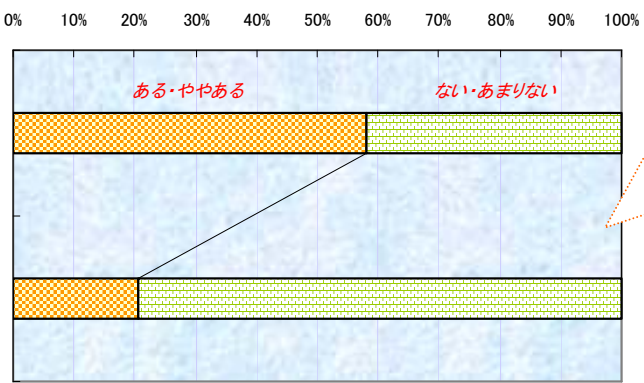


**Q. 自分の住んでいるまちをより良くしていくために、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加していますか。**



★自治会やボランティア活動などに参加している人は、回答者の約45%であるが、約54%の人は参加していないと回答している。

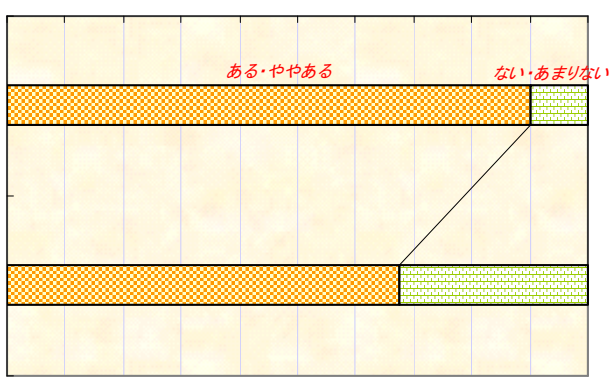
よく参加している・ときどき参加している  
参加していない



★「よく参加している」「ときどき参加している」と回答した人の約58%は、地域のことや自分のことについて話をする機会や場があると感じているが、約42%は感じていない。  
★「参加していない」と回答した人の約21%は、地域のことや自分のことについて話をする機会や場があると感じているが、約79%は感じていない。

Q 地域の人たちと、地域のことや自分のことについて話をする機会や場がありますか。

よく参加している・ときどき参加している  
参加していない

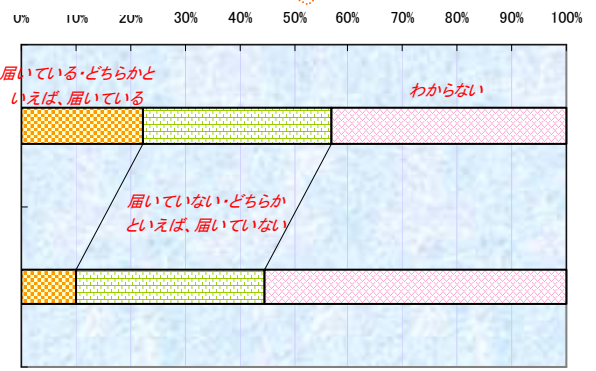


◆「よく参加している」「ときどき参加している」と回答した人の約22%は、市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていると感じているが、約34%は届いていない、約43%はわからないと感じている。  
◆「参加していない」と回答した人の約10%は、市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていると感じているが、約35%は届いていない、約55%はわからないと感じている。

Q 地域の出来事や様子に関心がありますか。

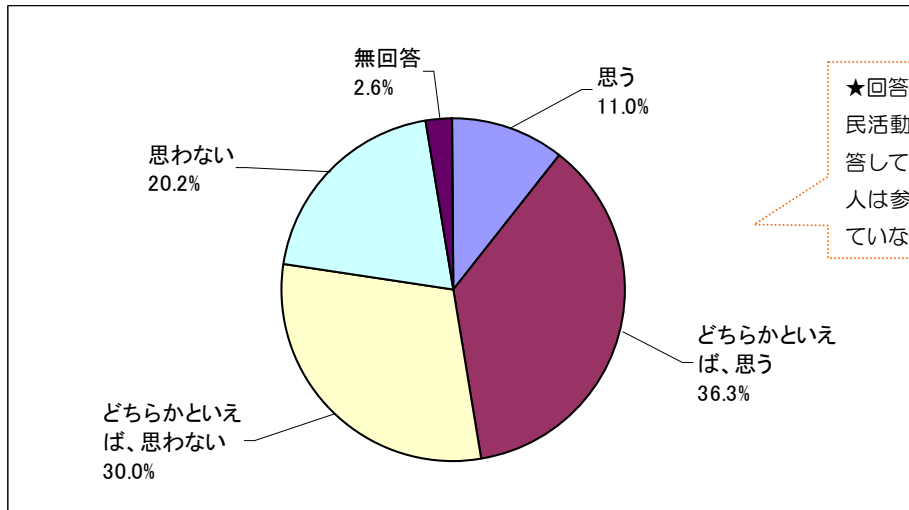
★「よく参加している」「ときどき参加している」と回答した人の約90%が地域の出来事や様子に関心を持っている。  
★「参加していない」と回答した人の約67%が地域の出来事や様子に関心を持っているが、約33%は持っていない。

よく参加している・ときどき参加している  
参加していない



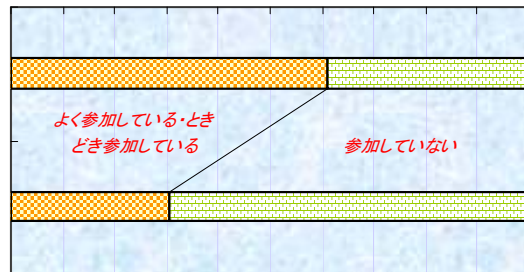
Q 市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていますか。

**Q.福祉や環境、まちづくりなどの市民活動に参加したいと思いますか。**



★回答者の約47%が、市民活動に参加したいと回答しているが、約50%の人は参加したいとは思っていない。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



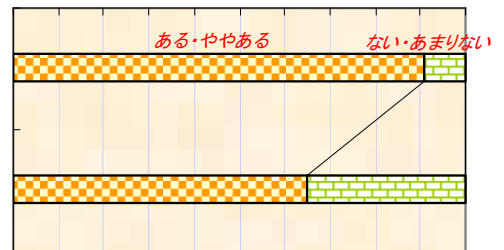
思う・どちらかといえば、思う  
思わない・どちらかといえば、思わない

**Q自分の住んでいるまちをより良くしていくために、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加していますか。**

★「思う」「どちらかといえば、思う」と回答した人の約61%は、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約39%は参加していない。  
★「思わない」「どちらかといえば、思わない」と回答した人の約31%は、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約69%は参加していない。

★「思う」「どちらかといえば、思う」と回答した人の約91%が、地域の出来事や様子に関心を持っている。  
★「思わない」「どちらかといえば、思わない」と回答した人の約65%が、地域の出来事や様子に関心を持っているが、約35%は持っていない。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

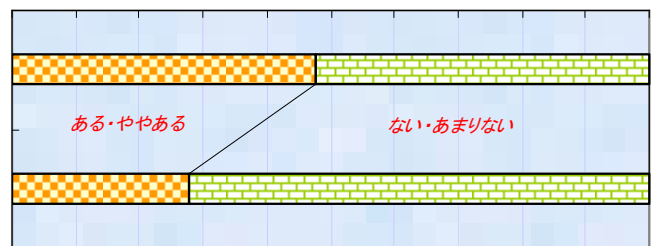


思う・どちらかといえば、思う  
思わない・どちらかといえば、思わない

**Q地域の出来事や様子に関心がありますか。**

◆「思う」「どちらかといえば、思う」と回答した人の約48%は、地域のことや自分のことについて話をする機会や場があると感じているが、約52%はないと感じている。  
◆「思わない」「どちらかといえば、思わない」と回答した人の約28%は、地域のことや自分のことについて話をする機会や場があると感じているが、約72%はないと感じている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

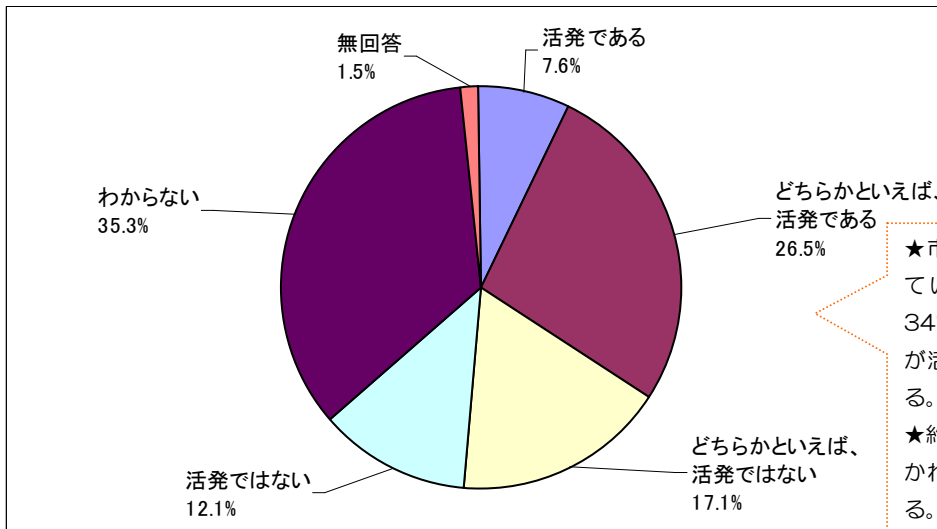


思う・どちらかといえば、思う  
思わない・どちらかといえば、思わない

**Q地域の人たちと、地域のことや自分のことについて話をする機会や場がありますか。**

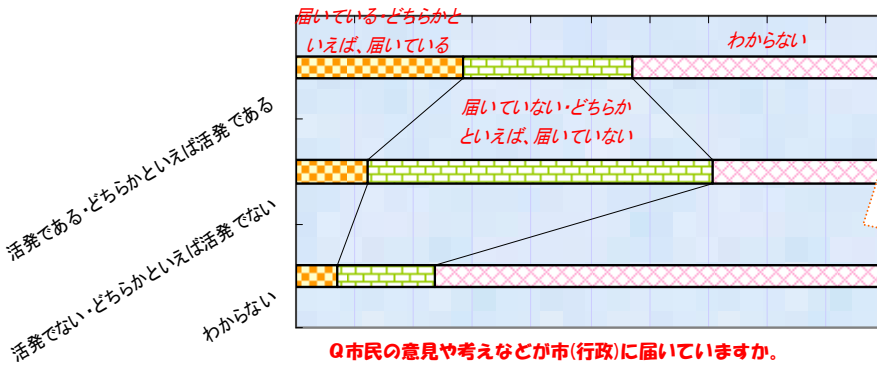


**Q.あなたの周りでは福祉や環境、まちづくりなどの市民活動は活発ですか。**



★市民活動が活発だと感じている人は、回答者の約34%であるが、約29%の人が活発ではないと感じている。  
★約35%の人が活発かどうかわからないと回答している。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



★「活発である」「どちらかといえば、活発である」と回答した人の約28%が、市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていると感じているが、約29%は届いていない、約43%はわからないと感じている。  
★「活発でない」「どちらかといえば、活発でない」と回答した人の約12%が、市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていると感じているが、約59%は届いていない、約29%はわからないと感じている。  
★「わからない」と回答した人の約7%が、市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていると感じているが、約16%は届いていない、約77%はわからないと感じている。

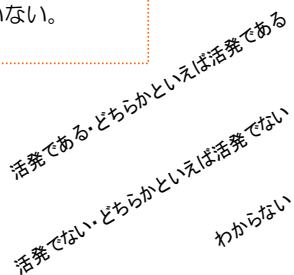
**Q市民の意見や考えなどが市(行政)に届いていますか。**

★「活発である」「どちらかといえば、活発である」と回答した人の約69%が、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約31%は参加していない。

★「活発でない」「どちらかといえば、活発でない」と回答した人の約43%が、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約57%は参加していない。

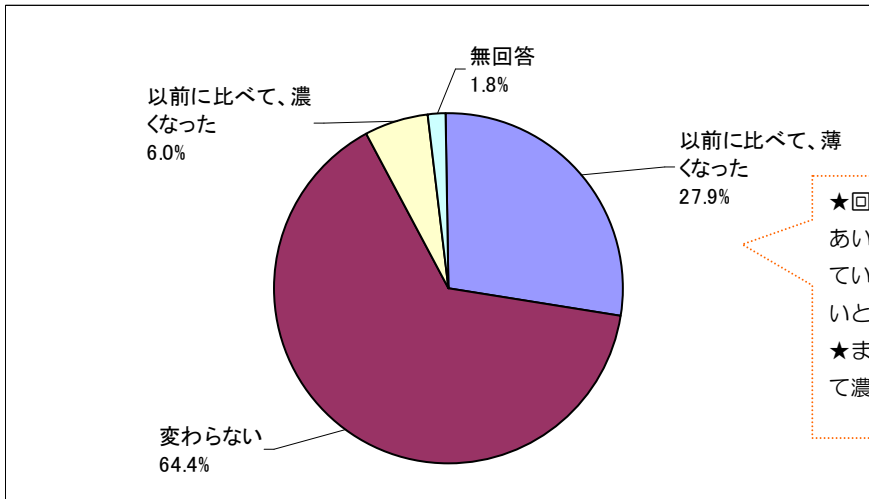
★「わからない」と回答した人の約25%が、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約75%は参加していない。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



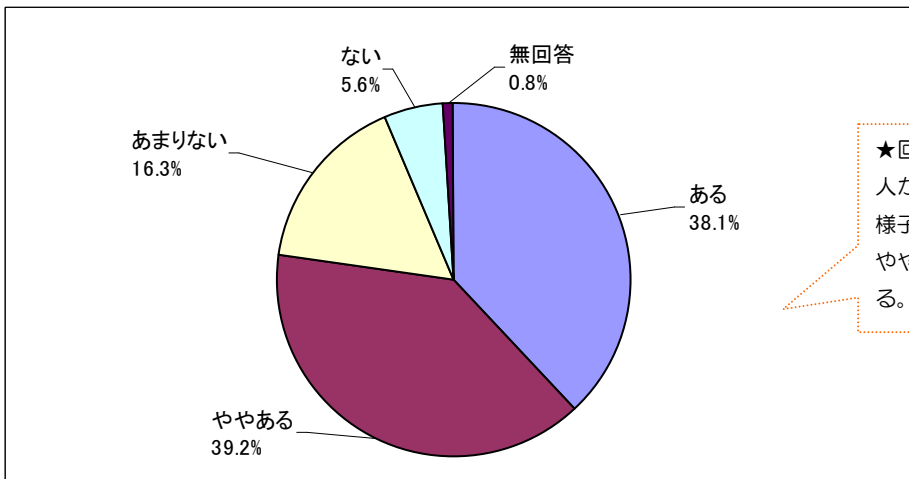
**Q自分の住んでいるまちをより良くしていくために、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加していますか。**

**Q. あなたの身の回りのご近所づきあいについて、どう感じていますか。**



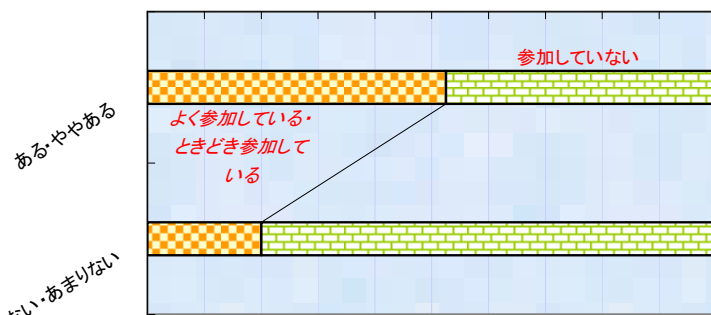
★回答者の約28%の人が、近所づきあいが以前より薄くなったと回答しているが、約64%の人は、変わらないと感じている。  
 ★また、約6%の人は、以前に比べて濃くなったと回答している。

**Q. 地域の出来事や様子に関心がありますか。**



★回答者の約77%の人が、地域の出来事や様子に関心がある・ややあると回答している。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

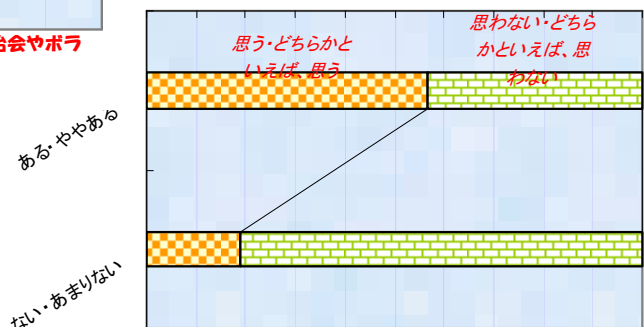


Q自分の住んでいるまちをより良くしていくために、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加していますか。

★「ある」「ややある」と回答した人の約52%は、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約48%は参加していない。  
 ★「ない」「あまりない」と回答した人の約20%は、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約80%は参加していない。

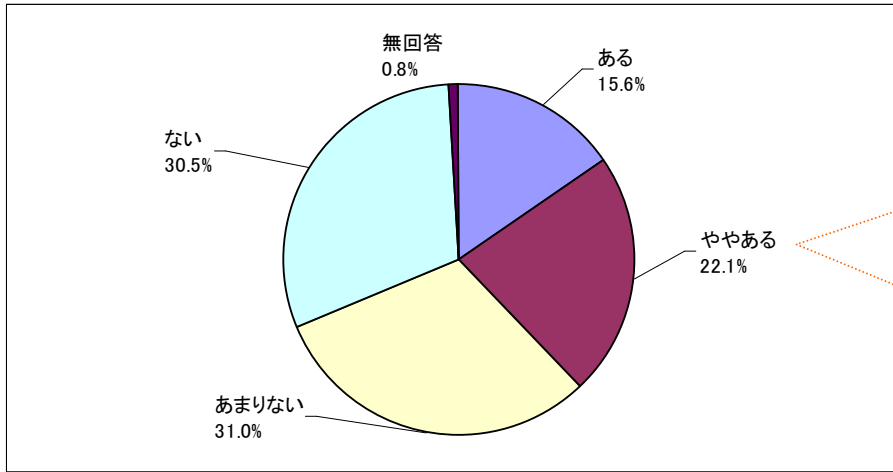
★「ある」「ややある」と回答した人の約57%は、まちづくりなどの市民活動に参加したいと思っているが、約42%は参加したいと思っていない。  
 ★「ない」「あまりない」と回答した人の約19%は、まちづくりなどの市民活動に参加したいと思っているが、約81%は参加したいと思っていない。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



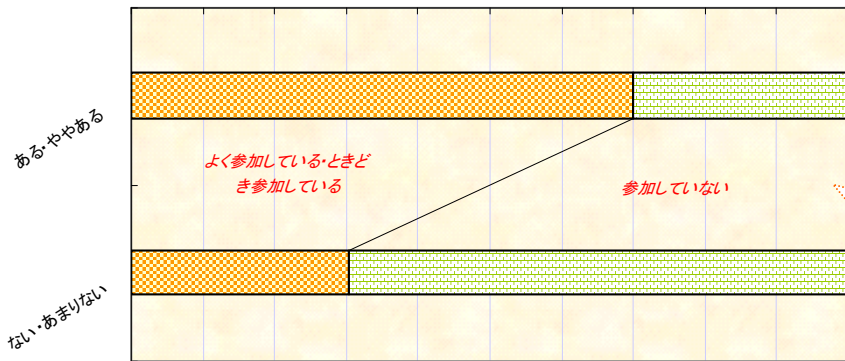
Q福祉や環境、まちづくりなどの市民活動に参加したいと思いますか。

**Q. 地域の人たちと、地域のことや自分のことについて話をする機会や場がありますか。**



★回答者の約 38%の人が、地域の人と地域や自分のことを話す機会や場があると回答しているが、約 62%の人はそうではないと回答している。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

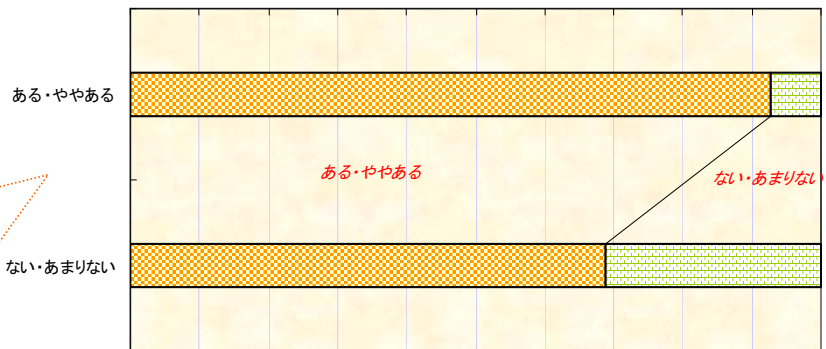


★「ある」「ややある」と回答した人の約 70%は、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約 30%は参加していない。  
★「ない」「あまりない」と回答した人の約 30%は、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加しているが、約 70%は参加していない。

**Q自分の住んでいるまちをより良くしていくために、自治会やボランティア活動などの市民活動に参加していますか。**

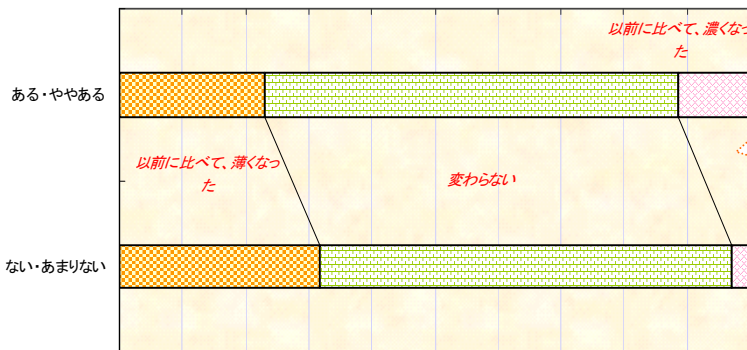
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

◆「ある」「ややある」と回答した人の約 93%は、地域の出来事や様子に関心があるが、約 7%は関心がない。  
◆「ない」「あまりない」と回答した人の約 69%は、地域の出来事や様子に関心があるが、約 31%は関心がない。



**Q地域の出来事や様子に関心がありますか。**

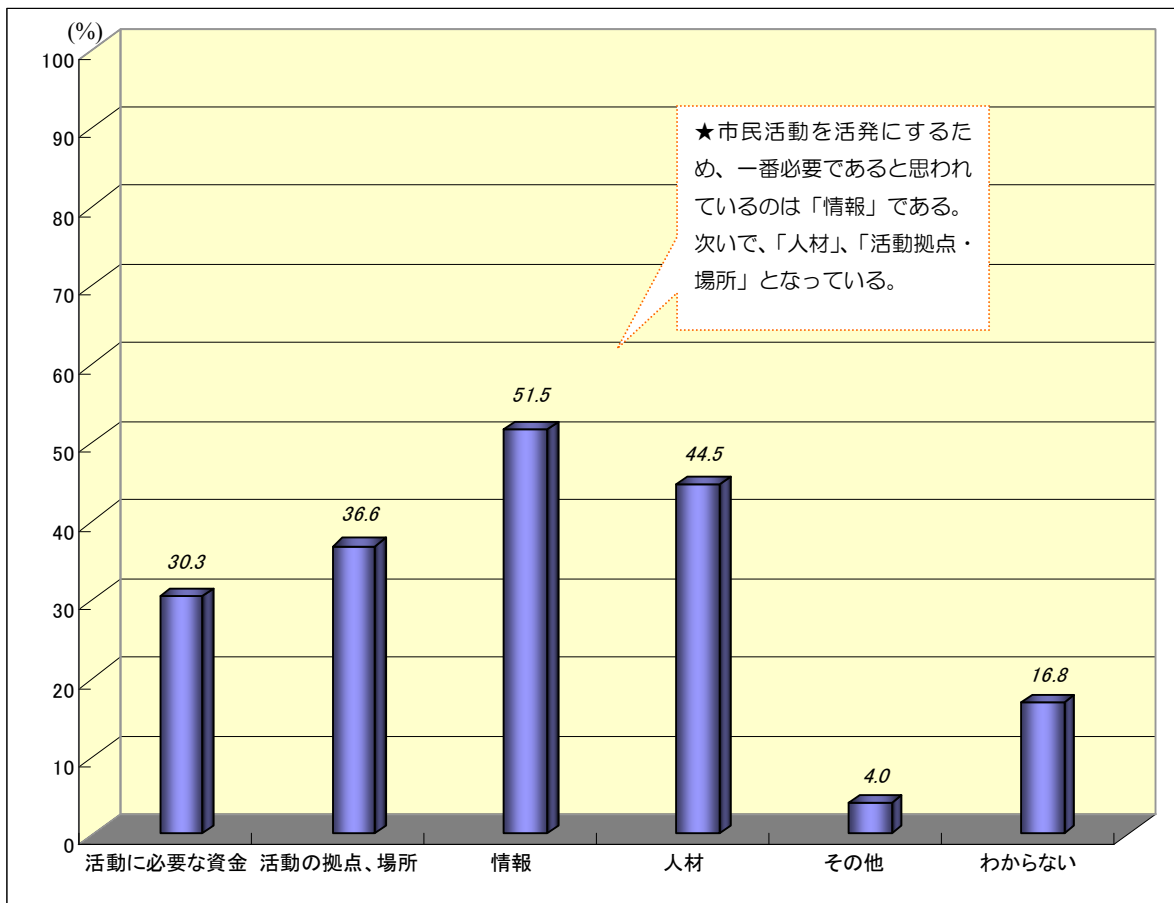
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



★「ある」「ややある」と回答した人の約 23%は、身の回りの近所づきあいについて、以前に比べて薄くなったと感じているが、約 66%は以前と変わらない、約 11%は濃くなったと感じている。  
★「ない」「あまりない」と回答した人の約 32%は、身の回りの近所づきあいについて、以前に比べて薄くなったと感じているが、約 65%は以前と変わらない、約 3%は濃くなったと感じている。

**Qあなたの身の回りのご近所づきあいについて、どう感じていますか。**

Q. 今後、市民活動を活発にするために、何が必要だと思いますか。〈複数回答可〉



### 3 協働参画のまちづくりにかかる庁内事例

※内容は、平成19年8月に協働参画プロジェクトチームが調査したもので、担当所管名等も当時のものです。

#### 情報の共有

① **住民説明会**・・・地域住民や利害関係者に説明し、理解を求める。

- 災害時要援護者支援の地域での体制づくり【防災安全課】
- 国民保護計画の住民説明会【防災安全課】
- 環境基本計画・環境配慮指針の住民説明会【環境創造課】

② **アンケート調査**・・・特定のテーマについて、広く住民の意見、要望を聴く。

- 協働とパートナーシップのまちづくりを進めるための市民実感調査【政策室】
- 新保健医療計画策定のための市民アンケート【健康づくり室】

③ **意見・提案の募集**・・・各種ツール(手紙、メール等)を活用し、広く住民の意見・提案を聴く。

- 自治会長会議の開催【市民活動・相談課】
- 市長への提案【市民活動・相談課】

#### 施策・事業の企画立案・実施

④ **講座・講習会**・・・基礎的・専門的知識などについて学ぶ機会を提供する。

- まちづくり出前講座【政策室】

⑤ **フォーラム**・・・広く住民の参加を求め、計画立案や課題解決に向けて意見交換を行う。

- 川西市企業人権問題啓発推進協議会講演会【消費・労政担当】

⑥ **審議会等**…各種課題について、複数の委員（学識経験者・各種団体・公募委員等）によって構成された合議制の諮問機関で調査審議する。

- 川西市総合計画審議会【政策担当】
- 川西市産業ビジョン推進委員会【商工農林・観光担当】
- 川西市中心市街地活性化協議会【都市整備課】
- 川西市廃棄物減量等推進審議会【リサイクル推進課】
- 川西市バリアフリー重点整備地区基本構想策定協議会【土木政策課】

ほか

⑦ **ワークショップ**…住民等が参加・体験しながら、課題を発見し、お互いに学び議論することで、合意形成して提案をまとめる。

- 総合計画後期基本計画策定に向けたワークショップの開催【政策室】
- 「奥池公園ワークショップ」ふれあい公園づくり  
【水と緑の推進課・都市計画課・福祉推進室・社会福祉協議会】
- 地区計画を目的としたまちづくり【都市計画課】

ほか

⑧ **パブリック・コメント**…各種計画等について、広く住民の意見を募集する。

- 国民保護計画について【防災安全課】
- 包丁(種類を限定)の販売及び保管等に関する取り組みについて【防災安全課】
- 総合計画後期基本計画について【政策室】
- ごみ収集体制の見直し計画について【リサイクル推進課】
- 市中心市街地活性化基本計画（案）【都市整備課】

ほか

⑨ **共催・実行委員会**…団体、事業者と行政等のそれぞれが主催者となって、共同で一つの事業（各種行事・イベント等）を行う。または住民等と行政が一つの組織を立ち上げ、そこが主催者となって事業を行う。

- 市民活動センターのフェスタ実行委員会【市民活動・相談課】
- 福祉デザインひろばづくり事業【福祉政策担当】
- 地域福祉市民フォーラムを実行委員会と共催【福祉政策担当】
- クリーンアップ大作戦の実施【環境業務課】
- 各種団体の代表者で組織された実行委員会により、一庫ダム周遊マラソン大会を主催。【スポーツ課】



ほか

⑩ **市民・ボランティアとの連携**・・・担い手づくりや活動の場の提供など、市民・ボランティアが活動しやすい環境を整備し、市民・ボランティアの自発性を尊重しながら協働で事業を実施する。

■ボランティアグループ「川西市文化財ガイドの会」と連携し、学習会、市内文化財のガイドなどを実施。

【社会教育課】

■図書の読み聞かせボランティア、音訳・点訳ボランティアを養成し、職員と共同で読み聞かせなどの実施。

【中央図書館】

■市民情報クリエイター制度で市民参加型の広報紙【広報課】

■違反広告物の撤去【道路交通安全課】

■消費者啓発グループによる出前講座【消費・労政課】

ほか

⑪ **NPOとの連携**・・・担い手づくりや活動の場の提供など、NPOが活動しやすい環境を整備し、NPOの自発性を尊重しながら協働で事業を実施する。

■総合計画後期基本計画策定に向けたワークショップの運営をNPOに委託【政策室】

■障害者小規模通所作業所、知的障害者自立生活訓練施設を運営するNPO法人に対する補助

【障害福祉担当】

■障害者団体、社会福祉法人、NPO法人、障害者等の協力、参加により障害者ボウリングの集いを開催【障害福祉担当】

■「わがまち再発見！」写真展の開催【都市計画課】

■まちづくり講座【都市計画課】



施策・事業の  
評価

⑫ **市政モニター**・・・モニターとして登録した市民に、各種施策等について意見を求める。

■水道モニター【水道局総務課】